

内視鏡検査がわが国の早期癌の診断に大きく貢献していることは誰もが認めるところであるが、virtual endoscopy (VE) がこれを凌駕する時代が来るのかどうかをテーマに、VE, CT colonography の描出能や将来性、さらに最先端をいく米国からスクリーニングにおける virtual colonoscopy の現状について、それぞれ第一人者の方々に原稿を寄せていただいた。multidetector-row CT (MDCT) の登場により、三次元画像の分解能が著しく向上したことが詳しく紹介されているが、さらに精度の向上が可能であること、表示方法をいろいろ工夫すれば平坦な病変の診断能の向上が期待できることなど、VE の将来は明るい。

今回の企画では VE のスクリーニングでの使用に主眼を置いた。スクリーニングの成功に影響を

与える最終的な要因は被験者の受容性であり、現状の VE では前処置や空気による腸管の拡張が必要で、楽な検査と言えるかどうか未知数である(吉田論文)。被験者にどれだけやさしい検査法かが問われているわけで、この点は消化器病診断学のみでなく、医療界全般に求められている思想であろう。このような大きな潮流の中で、人々の幸福に貢献できる手段の1つに VE がなりうるかどうか、多少なりとも浮き彫りにできたのではないかと考えている。読者の方々のご批判をいただければ幸いである。MRCP の登場で ERCP の件数が減少しつつあるように、近い将来 VE が普及して、内視鏡検査に情熱を傾ける若いドクターが減ってしまう可能性を危惧するのは、小生だけであろうか。

胃と腸

11月号(第37巻・第12号) 予告

発売予定

11月25日

定価(本体2,300円+税)

主題/Ip・Isp型大腸sm癌

序説 主題	Ip・Isp型大腸sm癌……………国立がんセンター中央病院・臨床検査部	下田 忠和
	大腸癌研究会によるIp・Isp型大腸癌浸潤度判定の基準……………獨協医科大学・病理学	喜多嶋和晃・他
	病理からみたIp・Isp型sm癌……………新潟大学・分子病態病理学	味岡 洋一・他
	Ip・Isp型大腸sm癌の臨床病理学的特徴とリンパ節転移 危険因子の解析……………九州大学・形態機能病理学	八尾 隆史・他
	Ip・Isp型早期大腸癌の深達度診断—X線を中心として……………松山赤十字病院・消化器科	小林 広幸・他
	Ip・Isp型大腸癌の深達度診断—通常内視鏡を中心として……………まえば内科胃腸科クリニック	前山 浩信・他
	Ip・Isp型大腸癌の深達度診断—治療法決定のために ……………国立がんセンター中央病院・内視鏡部	松田 尚久・他
	Ip・Isp型大腸癌の深達度診断—拡大内視鏡を中心として……………久留米大学・第2内科	辻 雄一郎・他
	Ip・Isp型大腸癌の深達度診断—ビオクタンニン染色による 拡大内視鏡所見の解析を中心に……………済生会新潟第二病院・消化器科	林 俊彦・他
	Ip・Isp型大腸癌の深達度診断—超音波内視鏡を中心として……………旭川医科大学・第3内科	藤谷 幹浩・他
	Ip・Isp型大腸sm癌の深達度診断—通常内視鏡および 超音波内視鏡を中心に……………福岡大学筑紫病院・消化器科	菊池 陽介・他
	肝転移再発を認めたIp型sm癌の1例……………昭和大学豊洲病院・消化器科	山本 栄篤・他
主題症例	注腸X線、内視鏡検査で経過の追えた大腸sm癌の1例……………福岡大学筑紫病院・消化器科	津田 純郎・他

胃と腸 (第37巻 第11号)

編集 早期胃癌研究会

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 本誌編集室直通(03)3817-5714

FAX (03)3815-7802/3815-7982

E-mail: itocho@igaku-shoin.co.jp

2002年10月25日発行(毎月25日発行)

1部定価(本体2,300円+税)

2002年年々ぎめ予約購読料33,810円

(増刊号5,500円を含む13冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通(03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 永和印刷(株) ☎(03)3813-5001

広告取扱 文 栄 社 ☎(03)3814-8541

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2002, Printed in Japan.

• 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

• JCLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

• 医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp>

(担当) 渡辺・飯村・阿野・小松原